

Micro Focus Server for COBOL

Micro Focus Server for SOA

ご使用の前に



Micro Focus Server へようこそ

このブックレットは、Micro Focus Server、および製品ライセンスの管理に使用されるライセンス管理機能のインストール方法を説明しています。

重要なライセンス情報

Micro Focus 製品の使用

ご購入の Micro Focus 製品をインストールおよび使用する前に必ず、付属の使用権許諾契約をお読みになり、理解しておいてください。使用権許諾契約が付属していない場合やよく理解できない場合は、先に進む前に Micro Focus 営業担当者または販売代理店にご連絡ください。

内部使用または再配布用アプリケーションの作成、配布およびライセンス供与

Server Express または Net Express を使用して作成され、UNIX/Linux/Windows 環境で実行される各アプリケーションには、Micro Focus またはその販売代理店からライセンス供与された Micro Focus Server for COBOL または Micro Focus Server for SOA が含まれている必要があります。Micro Focus Server は、そのアプリケーションが実行されるマシン上にインストールされなければなりません。Micro Focus Server ライセンスの購入については、Micro Focus の営業担当者または販売代理店にお問い合わせください。

始める前に

購入された製品に以下のコンポーネントが含まれていることを確認してください。

- Micro Focus Server と記載されたソフトウェア CD-ROM。
- ライセンスカード。これには、シリアル番号およびライセンス番号から成る製品ライセンスキーと、ご購入の Micro Focus Server でライセンス供与されているライセンスタイプ、ユーザ数/CPU 数、およびライセンスの対象である環境が記載されています。

Micro Focus ServerのWindowsへのインストール

Micro Focus Server for COBOL または Micro Focus Server for SOA は、Net Express がインストールされている同じコンピュータにインストールすることはできません。

Micro Focus Server を Windows にインストールするには、Micro Focus Server 製品 CD をインストールするコンピュータに装着してください。しばらくするとブラウザ上に Micro Focus Server ホームページが開きます。開かない場合には、Windows スタートメニューの「ファイル名を指定して実行...」で、

R:¥setup.exe

(ここで、R: は CD ドライブです)

を実行してください。

ホームページには Readme がありますのでご一読ください。用意ができたならご購入いただいた製品の種別に合わせて、「Micro Focus Server for COBOL <Windows>をインストールする」または「Micro Focus Server for SOA <Windows>をインストールする」のどちらかをクリックしてください。

セットアッププログラムが開始したら、画面に表示される指示に従ってください。

Micro Focus ServerのUNIX/Linuxへのインストール

このブックレットの随所で\$COBDIR が参照されていますが、この\$COBDIR とは、使用する COBOL 製品のインストール場所です。これは、デフォルトの設定では、/opt/microfocus/cobol です。

環境変数の設定例ではすべて、製品のデフォルト設定が記載されています。\$COBDIR が指すパス名の長さは 51 文字以下でなければなりません。

コマンドラインの例が適用されるのは、sh および ksh のみです。csh を使用している場合は、記載されている例に該当する csh コマンドを使用してください。

以前の Micro Focus COBOL 製品がインストールされている場合は、変更したすべての COBOL システムファイルのバックアップを作成しておくことをお奨めします。たとえば、cobkeymp、ADISCTRL、cobopt および cobconfig などです。Server Express をインストールした後に、これらのファイルにその前に適用した変更を再度適用します。

既存の COBOL 実行時システムと同じ環境に Micro Focus Server をインストールする場合はまず、既存の COBOL 実行時システムを削除する必要があります。または、インストールが完了するまで、既存の COBOL システムを別のディレクトリに移動しておくといでしょう。

Server Express と同じマシンで、別途購入した Micro Focus Server ライセンスを使用したい場合には、Micro Focus Server ソフトウェアをインストールする必要はありません。ソフトウェアとしては Server Express のみをインストールし、AppTrack ユーティリティを使用して Micro Focus Server のライセンスを追加インストールすれば結構です。

Server Express を使用して開発されたアプリケーションを実行するには、ライセンスが必要です。このライセンスは、Micro Focus Server ライセンスと呼ばれます。Server Express または Micro Focus Server 製品を入手したときに、CD ケースの中にライセンスカードが入っています。このカードには、ライセンスを使用可能なユーザ数/CPU 数、製品名 (Micro Focus Server) およびバージョンが記載されています。追加のライセンスが必要な場合は、Micro Focus の営業担当者または販売代理店に連絡して、購入方法をお問い合わせください。

Micro Focus Server ライセンスの管理には、AppTrack を使用します。AppTrack を実行するには、ご使用のオペレーティングシステムが共有メモリをサポートしている必要があります。

動作保証環境

このソフトウェア製品は、「動作保証環境」と呼ばれる、一群のオペレーティングシステムコンポーネントの組み合わせ上でビルドされています。動作保証環境は、オペレーティングシステム自体と、C/C++開発システム、システムリンカー、アセンブラ、並びに必要なオペレーティングシステムのパッチで構成されます。動作保証環境のバージョンレベルは、インストール中に表示されます。

このソフトウェア製品を、動作保証環境と異なる環境で使用することはできますが、製品の動作は動作保証環境上でのみ完全に保証されています。ユーザ環境と動作保証環境との間の差異が大きくなればなくほど、非互換に起因する問題の発生頻度も大きくなります。Micro Focus SupportLine は動作保証環境のみを使用して、技術サポートを提供します。

動作保証環境の詳細は `$COBDIR/docs/env.txt` で読むことができます。

インストール手順

このセクションでは、CD-ROM からインストール先の環境へのソフトウェアの抽出とインストールについて説明します。インストール先の環境に CD-ROM ドライブがない場合は、『CD を使用しないインストール』を参照してください。CD-ROM は、ISO 9660 フォーマットでシステム固有のマウントオプションを使用して、マウントされなければなりません。

1. `root` としてログインします。
2. Micro Focus Server と記載された CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM が自動的にマウントされない場合は、適切なシステムコマンドを使用してマウントしてください。
3. ファイル、`prodlist.txt` を開きます。このファイルには、ディレクトリ名とそこに含まれる製品の一覧が記載されています。
4. インストールする製品を含むディレクトリに移動します。Micro Focus Server 製品は、`v5000ep.trz` というファイル名の圧縮ファイルとして収納されています。
5. 作業用ディレクトリ（以下、例として `/tmpdir` とします）を作成し、`v5000es.trz` と `gzip` を CD の該当ディレクトリからコピーします。

gzip は圧縮ファイルを解凍するユーティリティプログラムです。必要であれば chmod コマンドで実行権を与えておきます。

6. 以下の例のようなコマンドで、製品をインストールするディレクトリを作成します。このディレクトリは、\$COBDIR と呼ばれます。

```
mkdir /opt/microfocus/cobol
```

7. 作成したディレクトリに、以下のように tar ファイルを解凍・展開します：

```
cd /opt/microfocus/cobol  
cat /tmpdir/v5000es.trz | /tmpdir/gzip -d - | tar xf -
```

8. 以下のコマンドを入力して、ソフトウェアをインストールします：

```
sh ./install
```

9. スクリプトにより、以下の使用権許諾契約が表示されます。承諾して、次の手順に進みます。

このソフトウェア製品をインストールしてご使用になる前にこの製品に同封のエンドユーザ使用許諾契約（以下「使用許諾契約」という）の条項に拘束されることに同意する必要があります。使用許諾契約は必ずお読みください。使用許諾契約にご同意いただけない場合は、未使用の製品をお買い求めの担当営業へご返品ください。お支払いいただいた代金はご返金いたします。最新の使用許諾契約が必要な場合はインストール処理を実行する前に担当営業までご連絡ください。

同意する場合は Y キーを、同意しない場合は N キーを押します。N キーを押すと、インストールは中止されます。

10. お使いのオペレーティングシステムが、製品をビルドした環境と異なる場合には、インストールを続行してよいかどうかを尋ねられます
11. 選択されたプラットフォームの動作保証環境が表示されます。（「動作保証環境」についての詳細はこの文書の前の方に記載されています）インストールを続けるためには Y(es) を入力します。インストールを終了したい場合には N(o) を入

かします。

12. 複数の Java システムが利用可能なプラットフォームでは、COBOL/Java 相互運用性サポートを使用するかどうかを尋ねられます。Y(es) を入力すると、デフォルトで使用する Java のバージョンを尋ねられますので、使用するものを選択してください。
13. ライセンスをインストールするかどうかを尋ねられます。ここでインストールせずに後でインストールすることもできます。
14. Micro Focus Server をインストールする環境が 64 ビットをサポートしている場合は、使用可能な作業モードが表示されるか、またはデフォルトの作業モード (32 ビットまたは 64 ビット) を指定するよう求められます。デフォルト作業モードを指定する場合は、32 または 64 と入力します。
15. Enterprise Server を含むプラットフォームの場合、Enterprise Server の構成をここで行うか、後で行うかを尋ねられます。ここで行うことを選択した場合には、Enterprise Server システム管理者のユーザ ID を尋ねられます。この作業を後で行うには以下のようにコマンドを起動します：

```
cd $COBDIR  
sh ./bin/casperm
```

16. 適切なシステムコマンドを使用して、CD-ROM をアンマウントし、ドライブから取り出します。コマンドの例は『CD-ROM のマウントとアンマウント』に記載されています。

CD を使用しないインストール

ご使用の UNIX システムに CD-ROM ドライブがない場合は、別のマシンの CD-ROM ドライブにマウントし、インストール先のマシンに必要なファイルをコピーして、インストールプログラムを実行できます。操作を開始する前に、インストール先のマシンに十分な空きスペースがあることを確認してください。必要なスペースは、使用する圧縮ファイルの解凍サイズと同じです。

さらに、この tar ファイルを保管するために、同じサイズの一時スペースが必要です。

1. 選択したマシンで Micro Focus Server と記載された CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM が自動的にマウントされない場合は、適切なシステムコマンドを使用してマウントしてください。
2. ファイル、prodlist.txt を開きます。このファイルには、ディレクトリ名とそこに含まれる製品の一覧が記載されています。
3. インストールする製品を含むディレクトリに移動します。
Micro Focus Server 製品は、v5000es.trz というファイル名 の圧縮ファイルとして収納されています。
4. インストール先のマシン上に作業用ディレクトリ (以下、例として /tmpdir とします) を作成し、CD をマウントしているマシンから、v5000es.trz と gzip をファイル転送でコピーします。
5. インストール先のマシン上で、以下の例のようなコマンドで、製品をインストールするディレクトリを作成します。このディレクトリは、\$COBDIR と呼ばれます。

```
mkdir /opt/microfocus/cobol
```

6. 作成したディレクトリに、以下のように tar ファイルを解凍・展開します：

```
cd /opt/microfocus/cobol  
cat /tmpdir/v5000es.trz | /tmpdir/gzip -d - | tar xf -
```

7. 以下のコマンドを入力して、ソフトウェアをインストールします：

```
sh ./install
```

8. CD-ROM からのインストール手順の、手順 9 以降を実行します。

インストール後の操作

製品をインストールしたら、以下を実行します。

1. 以下の環境変数を正しく設定します。

(以下の例の中で /opt/microfocus/cobol と書かれているのは、Micro Focus Server のインストール先ディレクトリパスです。必ずしもこれであるとは限りません。)

AIX を実行している IBM RS/6000 および Power PC systems の場合：

```
COBDIR=/opt/microfocus/cobol
export COBDIR
PATH=$COBDIR/bin:$PATH
export PATH
LIBPATH=/usr/lib:$COBDIR/lib:$LIBPATH
export LIBPATH
```

HP-UX を実行しているシステムの場合：

```
COBDIR=/opt/microfocus/cobol
export COBDIR
PATH=$COBDIR/bin:$PATH
export PATH
SHLIB_PATH=$COBDIR/lib:$SHLIB_PATH
export SHLIB_PATH
LD_LIBRARY_PATH=$COBDIR/lib:$LD_LIBRARY_PATH
export LD_LIBRARY_PATH
```

その他のシステムの場合：

```
COBDIR=/opt/microfocus/cobol
export COBDIR
PATH=$COBDIR/bin:$PATH
export PATH
LD_LIBRARY_PATH=$COBDIR/lib:$LD_LIBRARY_PATH
export LD_LIBRARY_PATH
```

2. Micro Focus Server を使用する前に、AppTrack ユーティリティを使用してライセンスを追加してください。ユーティリティの使用の詳細は、オンラインドキュメントの「ディプロイライセンスガイド」を参照してください。

詳細情報

Micro Focus Server について詳しくは、以下を参照してください：

Readme - システムに特有の情報および、他のドキュメントに含まれていない製品に関する最新情報が記載されています。このファイルは、ソフトウェアと同時に、\$COBDIR/docs/readme.txt としてインストールされます。製品の使用を開始する前に、このファイルをお読みください。

Server Express ヘルプ - 開発環境製品である Server Express 製品のヘルプには、Micro Focus Server の運用に関する多くの情報が記載されています。

Micro Focus および製品については、Web サイトにも詳しい情報があります。ブラウザで <http://www.microfocus.co.jp/> をご覧ください。